東京外国語大学 TOKYO UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES

第114号

学報

平成20年2月

左から橋本元理事、池端元学長、亀山学長

目次

学内ニュース

●池端学長・橋本理事離任式 …… 1
●亀山学長就任 …… 1
●研究講義棟が優良防火対象物認定 …… 2
●池端雪浦前学長による特別講演会を開催 …… 3
●モンゴルの作家・ジャーナリスト、リンチン・ガンバト氏講演会を開催 …… 3
●留学生日本語教育センター秋季研修旅行 …… 4
●インドネシア・イスラム寄宿塾教師と大学生との討論会 …… 4
●国立大学附置研究所・センター長会議第3部会シンポジウム …… 5
●池端前学長へ名誉教授の称号授与 …… 5
●外語祭およびオープンキャンパスを開催 …… 6
●調布市民向け見学会を開催 …… 6
●平成19年度永年勤続表彰式 …… 7
●イラク計画省副大臣等が来訪 …… 8
●エルベグドルジ モンゴル国元首相が来訪 …… 8
●多文化協働実践研究・全国フォーラム（第1回）開催 …… 9
●平成19年度文部科学省西東京地区中堅職員研修 9
●平成19年度東京外国語大学国際交流事業 ……10
●大学国際戦略本部強化事業「採択機関間の情報交換会」を開催 ……10
●「高校生のための国際理解（グローバル）セミナー」を開催 ……11
●国際シンポジウム「平和の新時代へ」を開催 …11

人事

●人事異動 ……12
●特認外国語教員の異動 ……14
●外国人研究員の異動 ……14

学事

●外国語学部外国人研究者の受入について ……15
●アジア・アフリカ言語文化研究所フェローの受入について ……15
●留学生日本語教育センター外国人共同研究員の受入について ……16
●外部資金の受入状況について ……16
●海外渡航（学部、大学院、AA研、留日、事務局） …16
主要日誌
（平成19年8月2日～平成20年2月1日） ……28

学内ニュース

池端学長・橋本理事離任式

8月31日（金）、池端学長・橋本理事の離任式を開催しました。

はじめに池端学長より、2期6年間の任期を振り返っての退任の挨拶があり、次に橋本理事より3年5ヶ月の任期を振り返っての挨拶がありました。

次に亀山次期学長より謝辞が述べられ、花束贈呈の後、大きな拍手の中、池端学長と橋本理事を見送りました（表紙写真）。

9月3日亀山学長就任

4＋1の力の育成と、世界知の輝ける殿堂をめざして

グローバル化とよばれる私たちの現代社会は、もはやバラ色の夢をもって語ることのできる社会ではありません。地球レベルで加速する環境破壊、頻発するテロ、格差社会にみる二極化、犯罪の凶悪化など、どれ一つをとっても、グローバル化がもたらした悲しい爪あとを見る思いです。これらの事態を受身のまま座視するだけであってよいのか、それとも、それを克服しようと蟻塚を築くような努力を重ねるのか、それらは私たちの精神力のありよう一つにかかっているといっても過言ではありません。しかし、知性と良識の府であるべき大学は、何よりもそうした矛盾に目を向け、その解決のために努力し、よりよい世界を拓くことのできる人材を育てあげることに大切な使命があると考えます。そして本学にとって、少なくともその使命をはたすうえで出発点となるのが言語です。世界を認識し、人と対話するための根源的なツールとしての言語です。

とはいえ、これほどの矛盾を抱えた世界に生きる私たちは、もはや、ツールの習得にのみ踏みとどまることは許されません。出発点はあくまで出発点なのです。

私たちの大学のグランドデザインに掲げられた未来像にはこう書かれています。

「地球社会化時代の未来を拓く教育研究の拠点大学をめざして」

同時に、私たちの大学が掲げる行動原理は次のようなものです。

「21世紀の地球社会と対話し行動する（InterACTing with the Global Society）」

私たちが、この二つのスローガンの交響のなかに託した願いとは、「言語をとおして」より果敢に世界の平和的共生に貢献できる人材を育成するということです。本学から巣立つ人々が、どこに生き、どこで働こうと、この精神を忘れてほしくないのです。そして、これから私たちの大学で学ぼうとする学生たちに対し、その育成に努めたいと願っているのは、まさにこの2つのスローガンにみあう次の4＋1の能力です。

Communication	多言語社会に貢献するコミュニケーション能力
Imagination	多文化社会をみつめるリアルな人間的想像力
Exploration	グローバルな地域社会にひろがる精緻なリサーチ力
Cooperation	地球社会と協働する果敢な行動力

＋

Presentation　　卓越した自己表現力

これら４＋１の能力は、じつは、私たちの大学の教育研究がよりどころとする出発点であり、かつ、到達点でもあるのです。

しかし、これら４＋１の力は、あくまでも地球社会に向けてはばたくための力であり、知性です。そして他方で、その力と知性をたゆまず育てていくための知的財産の貪欲な蓄積に励むことも大学の大きな使命なのです。

地球の風は、いま私たちに向かって吹いています。

グローバル化時代と呼ばれる状況が、地球一元化という表層的な流れの奥底にはらむ限りない多極化を浮きぼりにする現代にあって、世界の言語、文化、社会をめぐる膨大な学問的知見を蓄えた本学の存在は、これまでにない脚光を浴びることになるでしょう。人文学の輝けるonly oneにとどまらず、世界知の輝ける殿堂をめざしてもてる力を遺憾なく発揮するとともに、その存在感を世界に向かって広くアピールしていくことを約束したいと思います。

研究講義棟が優良防火対象物認定

本学は、９月25日（火）、府中キャンパス内の研究講義棟（延べ床面積33,265m²）の建物に対して、消防用設備の維持管理やＡＥＤ（自動対外式除細動器）の設置など総合的な安全対策面で評価が高いとして、東京都火災予防条例の優良防火対象物認定表示制度に基づく、「優良防火対象物認定通知書（通称：優マーク）」の交付を受けた。

同制度は、大都市東京における建築物が、高層・大規模化する一方、使用内容や管理形態の複雑多様化などにより、防火安全上の危険要因が益々増大の傾向にあることから、建物個々の危険実態を踏まえた実質的な防火安全性の向上に資するため、防火安全上の高い優良な建物に対する公的評価と、その結果を表示・公表する制度として、東京都火災予防条例の改正により平成18年10月１日にスタートした制度です。

認定に至るまでには、「優良防火対象物認定申請書」の書類審査、対象建物の消火活動の現場検証を経た後の判定会議により合否が決められ、同日午前に、府中消防署において、「優良防火対象物認定通知書」が市村府中消防署長より亀山学長に手渡されました。

なお、優良防火対象物の認定は、東京都内の国立大学法人では初の認定となるものです。

池端雪浦前学長による特別講演会を開催

10月13日（金）、池端雪浦前学長による特別講演会を開催しました。

本講演会は、８月末で退任した池端前学長の退任記念講演として行われ、講演の開催にあたり、宮崎恒二副学長より、歴史学者としての池端雪浦氏のプロフィールが紹介の後、「フォークカトリシズムの世界を生きた人々―聖ヨセフ兄弟会との対話―」と題する講演が行われました。

講演内容は、氏の40年に及ぶ研究生活の中心的なテーマをなす、フィリピンのフォークカトリシズムの世界における先駆的存在―聖ヨセフ兄弟会の軌跡を追い、その歴史的意味を問いかけたもので、本学の教職員、学生、そして学会関係者、市民を含めた約300名が参集し、熱心に聴講しました。

講演後、本学大学会館で開催された記念パーティには、約100名が参加し、石井米雄人間文化研究機構・機構長、亀山郁夫学長等から、池端雪浦前学長の６年間におよぶ学長在任中の本学への多大な貢献への感謝、ご苦労へのねぎらいが伝えられました。

また、教え子代表のスピーチのほか、シアソン駐日フィリピン大使のメッセージも届けられ、終始和やかな雰囲気の中で会は終了しました。

モンゴルの作家・ジャーナリスト、リンチン・ガンバト氏講演会を開催

10月16日（火）、国際交流基金の文化人短期招聘プログラムにより来日したモンゴル国の作家・ジャーナリスト、リンチン・ガンバト氏（61）の講演会が、同基金と本学の共催で、本学中会議室で開催されました。

ガンバト氏は、同国で広範かつ大きな影響力を持ち、親日派文化人としても活躍が目覚ましく、日本関連記事を積極的に発表しています。

講演会に先立ち行われた研究者交流には、二木博史教授（外国語学部）、岡田和行教授（同）、L.チョローンバータル特任外国語教員（同）、呉人徳司准教授（AA研）、朝魯門准教授（外国人研究者・内モンゴル師範大学）、上村明非常勤講師が出席し、ガンバト氏の生き方と創作活動をめぐって活発な意見交換が行われました。

講演会には、国際交流基金から菅野貢輝文化事業部長、和田好宏文化企画課長、内田康子文化企画課長補佐が出席し、逐次通訳を本学外国語学部モンゴル語専攻卒で在モンゴル日本大使館専門調査員もつとめた日野真由美さんが担当しました。ガンバト氏の講演「文学から見た日本」は、13世紀のフビライ・ハーン時代の「元寇」に始まる日本とモンゴルの関係史を様々な事例をあげながら現代までたどるきわめて興味深い内容で、講演後も出席者との活発な質疑応答が行われました。

また、その後、モンゴル語共同研究室で行われた交流会には、30名余りの学生・院生・留学生・教員が参加し、ガンバト氏の幼少年時代の文学体験、作品の登場人物の人間像や時代背景の問題、作品執筆の独特な方法、モンゴル史上尊敬する人物は誰かなど様々な話題が飛び出し、ガンバト氏の「良く勉強して良き人になりなさい」という学生たちに向けた助言を最後に散会となりました。

留学生日本語教育センター秋季研修旅行

留学生日本語教育センターでは、10月18日から20日まで山梨県大和村にある自然学校で２泊３日の秋季研修旅行を行い、留学生66名と教職員４名合わせて70名が参加しました。

留学生は甲州市立大和小学校との交流会・地元名人の指導によるわらじ作り・絵手紙などを体験、座禅や俳句などにも挑戦するなど日本の諸文化を体験する機会を得ました。また県立博物館・ワイナリー等の見学では質問を矢継ぎ早にするなど、積極的な態度がみることができ、実り多い３日間の研修となりまた。

特に、大和小との交流会では地元の新聞、CATVの取材が入るなど盛況で、小学校との交流を深めると共に、地域の活性化に寄与することができました。

インドネシア・イスラム寄宿塾教師と大学生との討論会

10月30日、外務省の「21世紀パートナーシップ招聘プログラム」によって本学を訪問したインドネシア・プサントレン（イスラム寄宿塾）の教師たち12名と学生との討論会が、「伝統文化と発展の両立・調和」をテーマに、事務棟２階中会議室にて開催されました。

この招聘プログラムは両国の相互理解を目的に2004年度から行われており、本学での討論会開催は昨年度に続き２度目となります。

日本側からは中央大学と本学の学生計17名（本学から６名）が参加しました。本学青山亨教授がモデレータを務め、中央大学酒井由美子准教授の冒頭発言、教師側代表のアブドゥル・ショマッド氏によるプサントレン紹介やインドネシア側の問題意識の説明のあと、和やかな雰囲気の中、活発な議論が繰り広げられました。

国立大学附置研究所・センター長会議第3部会を開催＝東京外国語大学

国立大学附置研究所・センター長会議第３部会（人文・社会科学系）が、同大アジア・アフリカ言語文化研究所（ＡＡ研）を担当機関として11月１日（木）に開催された。

午前中は、「さまざまなイスラーム－アジア・アフリカ研究の現場から－」をテーマとしたシンポジウムが開催された。シンポジウムは、今年度の部会長を出し、第３部会の運営を担当するＡＡ研が、本学中東イスラーム研究教育プロジェクトの協力を得て、第３部会構成員はもとより、広く一般に公開して開催した。文部科学省研究振興局振興企画課高橋憲一郎学術企画室室長補佐等をはじめ、学生、市民も含め180名が参加した。

大塚和夫ＡＡ研所長の開会挨拶ののち、水野広祐京都大学東南アジア研究所長の司会により、「アラブにとってイスラームとは何か」（飯塚正人・ＡＡ研）、「シーア派から見たイスラーム史」（森本一夫・東大東洋文化研究所）、「東南アジアにおけるイスラーム主義、その多様性：テロ、紛争、そして選挙政治」（岡本正明・京大東南アジア研究所）、「中央アジアのイスラーム－ロシア・ソ連との関わりから」（帯谷知可・京大地域研究統合情報センター）の４つの講演が行われた。これらの現地調査に基づくイスラームの多様な研究成果報告に、２人のコメンテーター（黒崎卓・一橋大経済研究所、長縄宣博・北大スラブ研究センター）からの論評が加えられ、更に会場からの質疑応答を含め、予定時間を超えて、イスラームを理解する充実したシンポジウムとなった。

また、同日の午後には、第３部会構成員が出席して、国立大学附置研究所・センターの再編についての懇談会を行い、また、引き続き開催された会議においては、文部科学省研究振興局高木秀人学術機関課課長補佐及び吉田雄介機構調整・共同利用係主任等をお招きして、研究環境基盤部会の審議の状況、国立大学法人評価、平成20年度概算要求について説明があり、活発な意見交換が行なわれた。

池端前学長へ名誉教授の称号授与

11月７日、本学学長室において、前学長池端雪浦先生に対する名誉教授の称号授与式が執り行われました。

この称号の授与は、学校教育法に基づき本学の学長または教授として15年以上勤務し退職した者で教育上、学術上及び大学運営上功績にあった者に授与されるもので、去る10月２日に開催された教育研究評議会において授与することが決定されておりました。

当日は、宮崎副学長、金口事務局長の立ち会いのもと、亀山学長より名誉教授の辞令書が池端先生に手渡されました。

外語祭およびオープンキャンパスを開催

11月21日（水）～25日（日）の５日間にわたり第85回外語祭が開催されました。連日、晴天にめぐまれ、円形広場を中心とした会場は、毎日大いににぎわっていました。特に各国料理店は、どこも行列ができるほどの賑わいでした。

一方、研究講義棟のなかでは、長年の伝統を誇る「語劇」の上演が行われました。今年も外大が専攻としてもつ26の言語すべてで、語劇が行われました。半年の準備をへて上演された劇は、いずれも、気合のはいったもので、舞台脇にはリアルタイムで字幕が投射され、それぞれの言葉を知っている人も知らない人も楽しめる工夫がなされていました。

あわせて、23日（祝）には、外国語学部第２回オープンキャンパス、ならびに大学院地域文化研究科大学院説明会が開催されました。外語祭の活気のなかでのオープンキャンパスには、1,400名の参加者があり、大盛況でした。

東京外国語大学、『調布市民向け大学見学会』を開催

11月21日（水）、東外大の学園祭である『外語祭』で多くの人がキャンパスに訪れる中、『調布市民向け大学見学会』を開催しました。

この見学会は昨年締結された、『調布市との相互友好協力協定』に基づき、地域住民との交流を深める事を主眼として企画されたものです。

秋晴れの中、柔らかな日差しに包まれつつ東外大に到着した参加者は、図書館を見学し、同学の今井教授から、大学と外語祭の概要説明を受け、外語祭を楽しみました。各国料理店では、普段では食べられない料理に舌鼓を打ち、名物である学生による各国語劇では、ベトナム語劇を鑑賞し感動するなど、外語祭を満喫しました。見学会終了後、参加者からは、「東外大ならではのものを見ることができた」、「国内にいながら世界を感じることができた」などの声を聞くことができました。

＜今井教授から説明を受ける調布市民（東外大図書館棟１階にて）＞

平成１９年度永年勤続表彰

平成19年度国立大学法人東京外国語大学永年勤続者表彰の授与式が平成19年11月21日、学長室において行われ、学長から被表彰者に対し、永年の勤続に対するお祝いとねぎらいの言葉が述べられるとともに、表彰状並びに記念品が贈られました。

被表彰者は、次のとおりです。

氏　　名	職　　名
成　田　　節	教員・外国語学部教授
村　尾　誠　一	教員・外国語学部教授
藤　井　　毅	教員・外国語学部教授
富　盛　伸　夫	教員・外国語学部教授
黒　澤　直　俊	教員・外国語学部教授
石　井　哲士朗	教員・外国語学部教授
杉　浦　　勉	教員・外国語学部教授
中　野　敏　男	教員・外国語学部教授
栗　原　浩　英	教員・アジア・アフリカ言語文化研究所教授
黒　木　英　充	教員・アジア・アフリカ言語文化研究所教授
甕　　隆　博	教員・留学生日本語教育センター准教授
三　浦　　登	事務・総務課専門員
近　藤　晴　彦	事務・教務課主任

※対象：国等の機関に20年以上勤務し、かつ、本学の職員として10年以上在籍した者

前列左から　栗原、黒澤、富盛、亀山学長、藤井、村尾、成田
後列左から　宮崎理事、小林理事、甕、三浦、田山留日センター長、金口事務局長（敬称略）

イラク計画省副大臣等が来訪

2007年11月27日、JICAの招聘で来日したイラク計画省サーミー・マティ副大臣、モハメッド・ザキ計画省人材局長、サーリフ・オマル高等教育省事務局長ら4名が、本学を視察訪問しました。

今回の視察訪問は、イラク人学生を積極的に日本に送り出したい、それをイラク復興の核にしていきたい、との先方の希望を受けて、イラクODAセミナーの一環として、行われたものです。

本学の平和構築・紛争予防（PCS）修士コースでは、JICA長期研修制度で来日した各国からの学生を、毎年２名程度受け入れており、本年10月には、イラク人学生1名を研究生として受け入れ、この学生はPCSに入学予定です。

訪問団は亀山学長、宮崎副学長を訪問し、学長からは「イラクの現状には深い憂慮の念を覚える。本学としてもイラクのよりよい将来を構築する上で､できるだけのことをしていきたい」との発言があり、訪問団からは「ぜひ今後協力関係を確立したい」として、本学に高い期待が寄せられました。

訪問団は授業の参観のほか、院生室や図書館､留学生が居住する寮を訪れ、食堂で学生とともに昼食をとり、紅葉の美しいキャンパスを楽しんでおられました。

東京外国語大学にモンゴル国元首相エルベグドルジ氏らが来訪

2007年11月30日、外務省の「オピニオンリーダー招聘事業」で来日したモンゴル民主党党首で元モンゴル首相のTs.エルベグドルジ氏と、モンゴル国国会議員ガンホヤグ氏等が東京外国語大学を訪問した。

午前中に行われた「研究者交流」では、外国語学部の二木博史教授、岡田和行教授、チョローンバータル客員教授、東外大アジア・アフリカ言語文化研究所の呉人徳司准教授が出席し、日本および本学におけるモンゴル研究の状況、モンゴルにおける日本研究の現状について意見を交換した。

亀山郁夫学長、宮崎恒二理事との昼食及び懇談を挟んで午後には、「モンゴルの体制転換とその教訓」をテーマとしたTs.エルベグドルジ氏による講演が行われ、会場は満員となりモンゴルに対する関心の高さを感じられた。

講演では、日本人学生やモンゴル人学生から、現在のモンゴルのかかえる諸問題について熱心な質問が寄せられ、積極的な意見交換が行われる講演会となった。

＜学長室にて＞

多文化協働実践研究・全国フォーラム（第1回）開催
―327名の実践者・研究者が参加―

東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターでは、2007年12月１日（土）～２日（日）に多文化協働実践研究・全国フォーラム（第１回）を開催しました。

全国フォーラムには、北は北海道から南は九州まで全国各地からご参加を頂き、「多言語・多文化社会の課題に迫る！」をテーマに、全体会・分科会・グループ発表・個人発表において熱い議論が交わされました。

同センターでは、多文化化する日本社会の課題解決のために、分野を超えた研究者と実践者が協働して取り組む「協働実践研究プログラム」を展開しています。全国フォーラムは、テーマ別に分かれた５つの協働実践研究班および全国の研究者や実践者によって提起された課題を共に考える貴重な機会になりました。

第14回国立大学法人等西東京地区中堅職員研修を開催

平成19年12月５日から７日の三日間、本学本部棟２階大会議室にて西東京地区中堅職員研修が開催されました。この研修は、採用後３年から５年目の中堅職員を対象に、職務の遂行に必要な知識を習得させ能力の資質向上を図るとともに、法人運営の中核となる職員を育成する目的で、西東京地区９機関の合同で毎年開催されています。今年度の当番機関は、本学と大学評価・学位授与機構で、参加者は29名。内容は、班別討議、救命救急実習、理事による講義等様々なものが実施されました。とくに班別討議では、業務の効率化、職場におけるコミュニケーション等のテーマに沿って、各受講生の活発な討議・発表が行われ、また講義では、各講師の話に真剣に耳を傾けていた姿から充実した研修となりました。

＜研修のプログラム＞

日付	講　　義	講　　師
12/5	「メンタルヘルス」	本学保健管理センター所長　井上哲文
	・班別討議 「急ぎの起案文書､フリーハンド」	本学、大学評価･学位授与機構の課長･課長補佐相当が助言者となり指導
12/6	・班別討議 「問題発見力・開発力の開発」	(株)コンサルティングアソシエイツ 吉平輝男
12/7	・(実習）普通救命講習	府中消防署
	・特別講話	本学学務部長　錦戸健二
	・「大学評価の意義と目的」	大学評価･学位授与機構理事 川口昭彦
	・「大学という業界について」	本学理事(研究･国際等担当）宮崎恒二

平成１９年度東京外国語大学国際交流事業

本学では、「留学生支援の会」との共催で、外国人留学生を対象とした国際交流事業を去る12月14日に開催しました。

国際交流事業は、二部構成により行われた。第一部は「武蔵野市国際交流協会」の協力を得て、着物の着付け、茶道、将棋など日本の伝統的な文化及び娯楽の体験教室が開催され、多数の留学生が参加しました。

引き続き行われました、第二部では、約200名の留学生のほか、日頃から留学生を支援いただいている奨学財団、地域交流団体等の出席を得て「国際交流の夕べ」を開催しました。

はじめに、亀山学長及び中嶋留学生支援の会会長から、留学生支援者に対する謝辞と留学生への期待や激励の挨拶があった後、懇談に入りました。

合間には留学生を中心としたアトラクションも行われ、大いに盛り上がり、終始なごやかな雰囲気のうちに国籍を超えての活発な交流が行われました。

大学国際戦略本部強化事業「採択機関間の情報交換会」を開催－東京外国語大学

本学では、12月17日、日本学術振興会との共催により、文部科学省大学国際戦略本部強化事業に採択された全国20の大学等による情報交換会を開催しました。

本交換会は、採択大学等が互いの国際及び国際化活動を紹介し合い、国際化に関するノウハウの共有やピアレビューを行うことで、国際化を推進するうえでの情報を互いに得ることを目的としたもので今回が第１回目の開催。採択機関の教職員をはじめ、文部科学省から、科学技術・学術政策局国際交流官付の野口文子企画係員等、約60名が参加しました。

今回は、「外国人研究者等の受入れの改善」をテーマとし、全体会の中で、日本学術振興会国際事業部金子忠利研究協力第一課長より「外国人研究者等の受入れの改善・背景」について報告があり、続いて、東京外国語大学より宮崎恒二理事・国際学術戦略本部長及び同本部コアスタッフのペーリ・バースカララーオ教授から、それぞれ同大学の外国人研究者等の受入れ状況、サポート体制について事例発表がされました。

また、全体会終了後、「外国人研究者等の受入れのスキーム」、「学内文書の英文化」、「研究・生活支援、情報提供」の３つのトピック別に班別討議を行い、外国人研究者等の受入れプログラム、学内表示の多言語化、支援スタッフの育成、学生のインターンを活用した支援等、各機関が本事業により現在取り組んでいる事例とともに、苦慮している問題点が披露され、参加者からは有益な情報交換の機会との数多くの声がありました。

本交換会は今後も継続的に開催されると共に、日本学術振興会が本事業の取組事例集として広く周知する予定となっています。

東外大　初の高校生向けのセミナー開催　2007/12/25〜30

本学では初めての試みとなる、高校生向け国際理解セミナーが、2007年12月25日から27日までの３日間東外大にて開催されました。

このセミナーは多言語・多文化教育研究センターにより、10代の若者に世界の様々な課題について考えるきっかけを提供し、文化や国際問題に対する感性とコミュニケーション能力を高めてもらうことを主眼として企画されたもので、全国から定員を超える応募があったが、選考の結果、24名の高校生が参加しました。

参加した高校生は、「これまで『国際』というトピックについて真剣に話し合える友人がいなかったので、そうした仲間と出会えたことがとても嬉しい」、「他の人の意見をきいて生まれる気持ちや引き出される視点があった」、「一人一人の意見が重視され、その一つひとつから発展する議論があったりということに対する喜びも感じられた」など多くの発見があり、今後、『勉強と学問の違い』と、『多文化共生』について考えていくきっかけになったようでした。

東外大　国際シンポジウム「平和の新時代へ向けて」を開催

大学院地域文化研究科平和構築・紛争予防講座（代表：伊勢崎賢治教授）の主催により、１月25日（金）、26日（土）の２日間、有明の東京ファッションタウンビルにおいて、平和構築・紛争予防をテーマに国際シンポジウムを開催しました。

このシンポジウムは、平和構築・紛争予防の新たなアプローチを探るとして、９カ国から19名の専門家を招き、３つのセッションに分かれ開催され、様々な学際的な観点を共有し、理論・実践的アプローチから総合的に議論が行われました。

両日とも300名を超える参加者が集まり、講演者との質疑応答では活発な意見交換がなされ、参加者からは、「平和構築を考える上で、新たな視点を得られた」「世界の紛争の実情を知ることが出来有意義だった」との声が寄せられ、再度の開催も望まれました。

主催者である伊勢崎教授は、「平和とは理論と実践の両輪によって前進します。本シンポにおいて、参加者は、多彩なバックグランドの講演者の意見を伺い、多くの知識を得たのみならず、平和に向けての行動を喚起されたと思います。当プログラムは、国際シンポを通じ、平和構築の使命に基づいた社会的貢献を果たすことができました。」と述べました。

人　　事

人事異動

平成19年８月31日（役員、部局長等）

任期満了（学長）	池　端　雪　浦
任期満了（理事・副学長）	馬　場　　彰
任期満了（理事）	橋　本　文　男
任期満了（学長特別補佐）	林　　佳世子
任期満了（学長特別補佐）	藤　井　守　男
辞　　任（外国語学部長）	小　林　二　男

平成19年８月31日（事務系職員）

辞　　職（保健管理センター看護師）	加　藤　まり子

平成19年９月１日（役員、部局長等）

学　　長（外国語学部教授）	亀　山　郁　夫
理　　事・副学長（外国語学部教授）	小　林　二　男
理　　事・副学長（再任）	宮　崎　恒　二
理　　事	酒　井　邦　弥
外国語学部長（外国語学部教授）	高　垣　敏　博
附属図書館長・学長特別補佐（外国語学部教授）	谷　川　道　子
学長特別補佐（外国語学部教授）（再任）	栗　田　博　之
学長特別補佐（外国語学部教授）	浦　田　和　幸
学長特別補佐（事務局長）	金　口　恭　久

平成19年９月１日（事務系職員）

情報図書館課（新規採用）	村　上　　遥

平成19年９月１日（教育研究評議員）

教育研究評議員	（学長）亀　山　郁　夫
教育研究評議員	（理事・副学長）小　林　二　男
教育研究評議員	（理事・副学長）宮　崎　恒　二
教育研究評議員	（理事）酒　井　邦　弥
教育研究評議員	（外国語学部長）高　垣　敏　博
教育研究評議員	（大学院地域文化研究科長）和　田　忠　彦
教育研究評議員	（アジア・アフリカ言語文化研究所長）大　塚　和　夫
教育研究評議員	（留学生日本語教育センター長）田　山　のり子
教育研究評議員	（附属図書館長）谷　川　道　子
教育研究評議員	（保健管理センター所長）井　上　哲　文
教育研究評議員	（アジア・アフリカ言語文化研究所附属情報資源利用研究センター長）栗　原　浩　英
教育研究評議員	（外国語学部教授）石　井　哲士朗
教育研究評議員	（外国語学部教授）藤　井　守　男
教育研究評議員	（外国語学部教授）相　馬　保　夫
教育研究評議員	（外国語学部教授）成　田　　節
教育研究評議員	（アジア・アフリカ言語文化研究所教授）峰　岸　真　琴
教育研究評議員	（留学生日本語教育センター教授）小　林　幸　江

平成19年９月１日（経営協議会委員）

経営協議会委員	（日本アイ・ビー・エム株式会社技術顧問）内　永　ゆか子
経営協議会委員	（凸版印刷株式会社印刷博物館館長）　樺　山　紘　一
経営協議会委員	（財団法人文化財建造物保存技術協会会長）　川　村　恒　明
経営協議会委員	（弁護士・元日弁連副会長）　木　村　　謙

経営協議会委員	（前三井物産株式会社代表取締役社長）	清　水　愼次郎
経営協議会委員	（国際基督教大学大学院教育学研究科教授）	藤　田　英　典
経営協議会委員	（株式会社フジテレビジョン相談役）	村　上　光　一
経営協議会委員	（学長）	亀　山　郁　夫
経営協議会委員	（理事）	酒　井　邦　弥
経営協議会委員	（外国語学部長）	高　垣　敏　博
経営協議会委員	（大学院地域文化研究科長）	和　田　忠　彦
経営協議会委員	（アジア・アフリカ言語文化研究所長）	大　塚　和　夫
経営協議会委員	（留学生日本語教育センター長）	田　山　のり子
経営協議会委員	（事務局長）	金　口　恭　久

平成19年９月16日（事務系職員）

保健管理センター看護師（新規採用）	平　戸　美　絵

平成19年９月30日（教育系職員）

辞　　職（外国語学部准教授）	Peterson　Mark

平成19年10月１日（教育系職員）

特命事項担当室准教授（大学院地域文化研究科准教授）	小笠原　欣　幸

平成19年10月１日（事務系職員）

会計課専門員（会計課総務係長）	小　林　　浩
（兼務）会計課総務係長	
（兼務）企画広報課評価企画係長（企画広報課専門員）	藤　﨑　英　朗
（兼務解除）企画広報課総務企画係長	
（兼務解除）内部監査室（会計課財務分析係長）	伊　藤　竜　治
（兼務）内部監査室（会計課財務分析係主任）	赤　星　孝　紀
企画広報課（新規採用）	太　田　一　徳

平成19年10月９日（事務系職員）

総務課専門職員（学務部留学生課専門職員）	田　中　鉄　哉

平成19年10月15日（事務系職員）

学務部留学生課専門職員（学務部教務課専門職員）	木　村　明　雄

平成19年10月31日（事務系職員）

辞　　職（会計課調達経理係長）	（電気通信大学財務課経理係長就任予定）	茂　木　利　貞

平成19年11月１日（教育系職員）

外国語学部教授（新規採用）	北　脇　保　之

平成19年11月１日（事務系職員）

企画広報課課長補佐（企画広報課専門員）	今　井　健　二
（兼務解除）企画広報課情報係長	
会計課専門員（企画広報課専門員）	藤　﨑　英　朗
（兼務）会計課総務係長	
（兼務解除）企画広報課評価企画係長	
（兼務解除）会計課予算係長（会計課課長補佐）	比田井　　真
（兼務）会計課予算係長（会計課専門員）	小　林　　浩
（兼務解除）会計課総務係長	
企画広報課専門員（電気通信大学財務課出納係長）	冨　田　　章
（兼務）企画広報課評価企画係長	
企画広報課情報係長（企画広報課広報係主任）	萩　原　啓　一
（免）企画広報課広報係長心得	
企画広報課広報係長（企画広報課広報係主任）	楠　本　修　司

会計課調達経理係長（会計課専門職員）　高　木　博　史
会計課専門職員（会計課調達経理係主任）　山　本　健一郎
研究協力課研究協力係主任（事務局付）　碓　氷　春　男
学務部教務課大学院係主任（学務部教務課）　戸　澤　　高
企画広報課（新規採用）　松　橋　祐　希
多言語・多文化教育研究センター（任期付）（新規採用）　加　藤　丈太郎

平成19年11月11日（事務系職員）
辞　　職（企画広報課）　（大学入試センター事業部事業第三課就任予定）田　中　義　之

平成19年12月１日（事務系職員）
総務課専門員（事務局付）　冨　澤　正　志
（命）障害者雇用準備室長
学務部入試課専門職員（総務課総務係主任）　丹　羽　弘　行
学務部教務課（学務部入試課）　加　藤　友　紀

平成20年１月１日（教育系職員）
アジア・アフリカ言語文化研究所教授　（アジア・アフリカ言語文化研究所准教授）永　原　陽　子

平成20年２月１日（役員、部局長等）
副学長・学長特別補佐　金　口　恭　久
（兼務）事務局長

平成20年２月１日（教育系職員）
外国語学部准教授（外国語学部講師）　舩田クラーセンさやか

特任外国語教員の異動

所　属・職　名	氏　　名	国　　籍	招へい期間	備　考
外国語学部（中国語）	オウ　ユウミン	中　　国	2007. 10.　1～2009.　9. 30	ソ　エイカの後任
外国語学部（トルコ語）	アイヌール　ハティージェ	ト　ル　コ	2007. 10.　1～2008.　9. 30	シェンドゥラン　アイシェ　エミネの後任

外国人研究員の異動

所　属・職　名	氏　　名	国　　籍	招へい期間	備　考
アジア・アフリカ言語文化研究所客員教授	リ　ー　リ　ョ　ク	フ　ラ　ン　ス	2007.　9.　1～2008.　8. 31	
アジア・アフリカ言語文化研究所客員教授	イン　ショウテイ	中　　国	2007.　9.　1～2008.　8. 31	
アジア・アフリカ言語文化研究所客員教授	カナファーニ＝ザハール　アーイダ	フ　ラ　ン　ス	2007. 10.　1～2008.　2. 29	
アジア・アフリカ言語文化研究所客員教授	バーティヤ　テージクリシャン	ア　メ　リ　カ	2007. 12.　1～2008.　8. 31	
アジア・アフリカ言語文化研究所客員教授	イマエダ　ヨシロウ	フ　ラ　ン　ス	2008.　2.　1～2008.　7. 31	

学　　事

外国語学部外国人研究者の受入れについて

研究者氏名	国　籍	受入れ教員	研　究　課　題	受 入 れ 期 間
Chad Diehl（チャド ディール）	アメリカ	岩崎　稔	都市長崎の被爆体験と戦争の記憶の重層性	2007. 8. 21～2008. 7. 20
珠颯（ジュ サー）	中　国	二木博史	内モンゴル東部の近現代史の研究	2007. 10. 2～2008. 9. 30
曹道巴特爾（ソドバータル）	中　国	二木博史	中国東部モンゴル社会とその言語文化の変遷について――モンゴル民謡・民話の言語文化学的研究	2007. 10. 2～2008. 9. 30
朝魯門（チョルモン）	中　国	岡田和行	モンゴル現代文学と外来文化の影響に関する研究	2007. 10. 2～2008. 9. 30
呼斯勒（フスレ）	中　国	二木博史	中国共産党の対内モンゴル政策の研究	2007. 11. 1～2008. 10. 31（継続）
金中（キンチュウ）	中　国	村尾誠一	新古今和歌集の和漢比較文学的研究	2007. 11. 15～2008. 11. 14
Schäfer Fabian（シェーファー ファビアン）	ドイツ	岩崎　稔	戦前期日本におけるメディア論的・コミュニケーション論的思想	2008. 2. 1～2008. 2. 23

アジア・アフリカ言語文化研究所フェローの受入について

氏　名	研　究　テ　ー　マ	研 究 期 間	受 入 教 員
清水昭俊	アンダマン諸島の歴史と人類学	2006. 4. 1～2009. 3. 31	宮崎恒二
石井　溥	国際ワークショップの成果出版作業	2006. 4. 1～2007. 9. 30	三尾裕子
内堀基光	資源の分配と共有をめぐる人類学的統合領域の構築	2006. 4. 1～2007. 9. 30	小川　了
川田順造	アフリカの音文化の研究、技術文化の比較研究外	2006. 8. 1～2007. 7. 31	小川　了
Matthew William Mosca	ハーバード大学	2006. 10. 1～2007. 6. 30	C．ダニエルス
髙松洋一	オスマン朝のアーカイブズの復元に関する基礎的研究	2007. 4. 1～2008. 3. 31	近藤信彰
Ayisima Miersulitan	2007年度言語研修現代ウイグル語の教材作成等	2007. 4. 1～2007. 9. 28	稗田　乃
新江利彦	ベトナムの日本ODA案件実施地域における先住民族の土着知識継承に関する研究	2007. 5. 11～2008. 5. 10	クリスチャン・ダニエルス
川床睦夫	アラビア文字岩壁碑文研究を中心としたイスラーム生活文化史、物質文化史、東西海上交流史	2007. 6. 1～2008. 3. 31	飯塚正人

氏　　名	研　究　テ　ー　マ	研 究 期 間	受 入 教 員
丹　菊　逸　治	ニヴフ民族口承文学の研究	2007. 7. 1〜2008. 6. 30	峰　岸　真　琴
Christopher I. Beckwith	Early Old Chinese Loanwords in Proto-Japanese	2007. 7. 13〜2007. 8. 31	星　　泉

留学生日本語教育センター外国人研究者の受入れについて

氏　　名	所属・職名	受入れ教員	研　修　課　題	受 入 れ 期 間
李　　軍	東北師範大学中国赴日本国留学生予備学校・講師	善如寺　俊　幸	日中の同形異義および異形同義の漢字に関する研究	H19. 10. 1〜H20. 9. 30
張　剣　秋	四川外語学院応用外国語学院・講師	楠　本　徹　也	1．外国人を対象とする日本語文法教育論 2．日中文法現象の比較	H19. 10. 1〜H20. 9. 30

外部資金等の受入状況について

1．寄附金

氏　　名	寄附の目的	機関	金　額（千円）	期　　間	備　考
八尾師　　誠	アフガニスタン国立公文書館所蔵文字資料群の調査・整理および保存	(財)トヨタ財団	2,000	H19. 11. 26〜H20. 3. 31	
鶴　田　知佳子	通訳実務教育充実のため	ケイワイトレード株式会社	300	H19. 11. 26〜H21. 3. 31	
新　井　和　広	「民家の物置からインド洋を眺める－イエメン､ハドラマウト地方における民間文書の保存、公開」	(財)トヨタ財団	1,500	〜H21. 10. 31	2,960千円の内、第1期分

2．共同研究

氏　　名	寄附の目的	機関	金　額（千円）	期　　間	備　考
佐　　野　洋	取扱説明書日本語文書の定量的解析に関する研究	松下電器産業株式会社	260	H19. 12. 1〜H20. 3. 31	

海　外　渡　航

1．特命事項担当室

氏　　名	目　　的	渡 航 先	渡　航　期　間
小笠原　欣　幸	中国社会科学院の研究者との研究交流（科研費［駒沢大学］）	中国	2007. 10. 28〜2007. 11. 1
小笠原　欣　幸	台湾の研究者との研究交流ならびに台湾政治の資料収集（科研費［駒沢大学］）	台湾	2007. 12. 6〜2007. 12. 11
小笠原　欣　幸	台湾の研究者との研究交流ならびに台湾政治の資料収集（科研費［駒沢大学］）	台湾	2008. 1. 11〜2008. 1. 15

2．外国語学部

氏　　名	目　　的	渡航先	渡　航　期　間
舩田クラーセン　さやか	現地調査（科研費［舩田クラーセン　さやか］）	ヨハネスブルク タンザニア モザンビーク	2007. 7. 29～2007. 8. 28
吉　枝　聡　子	科研課題海外調査のため（科研費［吉枝　聡子］）	パキスタン 中国	2007. 7. 30～2007. 9. 17
在　間　　進	Castel-J第4回国際会議参加（大学改革推進等補助金［現代GP　e-日本語］）	アメリカ（ハワイ）	2007. 8. 2～2007. 8. 7
佐々木　孝　弘	シラキューズ大学、ノースカロライナ大学、ノースカロライナ州立公文書館、シカゴ大学などにおける史料および文献収集（科研費［代表者：佐々木　孝弘］）	アメリカ	2007. 8. 3～2007. 9. 11
アイシェ・　エミネ・シェンドゥラン	教材収集のため（私費）	トルコ	2007. 8. 3～2007. 9. 24
斉　藤　弘　子	学会参加（科研費［代表者：川口　裕司］）	ドイツ	2007. 8. 5～2007. 8. 27
セーンファー・ホーラーヌパープ	ラオス語教材・図書の購入、およびラオス特任外国語教員後任人事連絡業務（私費）	ラオス	2007. 8. 5～2007. 9. 22
敦　賀　陽一郎	資料調査・収集（科研費［代表者：敦賀　陽一郎］）	フランス	2007. 8. 6～2007. 8. 31
箕　浦　信　勝	現地調査のため（科研費［代表者：箕浦　信勝］、［代表者：深澤　秀夫］）	マダガスカル	2007. 8. 6～2007. 9. 4
風　間　伸次郎	ウデヘ語の現地調査（科研費［代表者：風間　伸次郎］）	ロシア	2007. 8. 8～2007. 8. 15
粟　屋　利　江	研究会参加	インドネシア	2007. 8. 8～2007. 8. 19
正　保　　勇	授業の教材作成のためのマレー語現地調査・資料収集・研究者との意見交換（私費）	マレーシア シンガポール	2007. 8. 10～2007. 9. 6
塩　原　良　和	オーストラリア・シドニーにおける資料収集・インタビュー調査（科研費［代表者：塩原　良和］）	オーストラリア	2007. 8. 11～2007. 8. 25
八尾師　　誠	イラン・イスラーム共和国国民図書館・資料機構の関係者らとアフガニスタン国立公文書館所蔵文字資料の整理・保存支援事業に関する打ち合わせ・情報交換・資料収集　他	イラン アフガニスタン	2007. 8. 13～2007. 10. 1
宇　戸　清　治	科研研究課題の研究遂行のため（科研費［代表者：宇戸清治］）	タイ	2007. 8. 14～2007. 9. 8
金　　鍾　徳	論文用のフィールドワークのため（自費）	韓国	2007. 8. 15～2007. 8. 29
武　田　千　香	リオ州立大学にてプロジェクトの具体化準備を行う、また研究資料収集を行う。（自費）	ブラジル	2007. 8. 15～2007. 9. 11
立　石　博　高	アメリカにおける記念碑、歴史博物館の調査（科研費［松本　彰（新潟大学）］）	アメリカ	2007. 8. 16～2007. 8. 25
青　山　　亨	インドネシアにおけるイスラーム関係史史料の調査（19年度最適化教育プログラム地域社会先端教育研究センター長裁量経費）	インドネシア	2007. 8. 16～2007. 9. 5

氏　　名	目　　的	渡 航 先	渡　航　期　間
上　原　　泉	科研課題学会発表のため（科研費［代表者：上原　泉］）	ドイツ	2007. 8. 20～2007. 8. 26
佐々木　あや乃	「語り手と女」研究打ち合わせと資料収集（科研費［代表者：佐々木　あや乃］）	イラン	2007. 8. 20～2007. 9. 10
今　井　昭　夫	科研費研究「植民地期東アジア民衆諸宗教の伝播と交流～情報メディアの分析」による海外出張で、ベトナムにおける民衆宗教関係の資料収集を行う（科研費［学習院大学　竹内　房司］）	ベトナム	2007. 8. 20～2007. 9. 11
土　佐　桂　子	ミャンマーの民族医学をめぐる調査（科研費［土佐　桂子］）	ミャンマー	2007. 8. 21～2007. 9. 11
新　熊　隆　嘉	インドにおけるリサイクルの現況視察（廃棄物処理等科研費［3Rイニシアティブ］）	インド	2007. 8. 23～2007. 8. 30
二　木　博　史	モンゴル国立大学と本学との共催で開催される国際会議「モンゴル諸民族の過去と現在」に参加し、研究発表し、研究者と意見交換をする。（自費）	モンゴル	2007. 8. 24～2007. 9. 5
宮　田　敏　之	科研課題遂行のため、タイ国および香港において、資料調査・収集を行うため。（科研費［宮田　敏之］）	タイ	2007. 8. 24～2007. 9. 11
鈴　木　　茂	ブラジルにおける多文化主義政策に関する調査、資料収集、コロキアム参加（科研費［鈴木　茂］）	ブラジル ベネズエラ	2007. 8. 24～2007. 9. 21
粟　屋　利　江	アジアの無形文化における仮頭の研究の資料収集（科研費［立教大学］）	インド	2007. 8. 25～2007. 9. 4
岡　田　和　行	第2回国際学術会議「モンゴル系民族の過去と現在」出席、および科研課題に関する資料収集と調査のため（科研費［岡田　和行］）	モンゴル	2007. 8. 25～2007. 9. 5
バン　ソバタナ	王立プノンペン大学とISEP留学生（受入）について手続き書類について打ち合わせ　他（自費）	カンボジア	2007. 8. 27～2007. 9. 27
相　馬　保　夫	第二次世界大戦期における中欧社会主義者の反ナチ抵抗運動と戦後ドイツ構想」に関する資料収集（科研費［代表者：相馬　保夫］）	オーストリア ポーランド ドイツ	2007. 8. 28～2007. 9. 10
若　松　邦　弘	イギリスにおける新しい利害の表出と組織化に関する資料の収集（科研費［若松　邦宏］）	イギリス	2007. 8. 28～2007. 9. 6
佐　野　　洋	アダムミツキエイッチ大学（日本学科）、ヤギウォ大学（日本語科）訪問　他　（現代GP）	ポーランド	2007. 8. 29～2007. 9. 5
望　月　圭　子	2007年中日理論言語学研究国際フォーラムにおける発表、大学院生の引率・教育（自費）	中国	2007. 8. 30～2007. 9. 3
李　　孝　徳	文部科学省大学教育の国際化推進プログラム（海外先進研究実践支援）「環太平洋アジア系移民文学・文化の比較研究」（平成19年度研究拠点形成費等補助金）	アメリカ（ハワイ）	2007. 9. 1～2008. 3. 31
岡　田　昭　人	サラエボ大学平和学研究者との意見交換（PCS［戦略的国際連携支援］）	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2007. 9. 2～2007. 9. 8
宇　根　祥　夫	資料収集、及びベトナム語・日本語の教授法に関してのベトナム人研究者との意見交換（自費）	ベトナム	2007. 9. 4～2007. 9. 11
塩　原　良　和	科研による豪州現地調査のため（科研費［代表者：石井由香（立命館大学）］）	オーストラリア	2007. 9. 4～2007. 9. 11
風　間　伸次郎	ウルチャ語（ツングース諸語の一つ）の現地調査による資料収集（科研費［北海道大学］）	ロシア	2007. 9. 7～2007. 9. 14

氏　　名	目　　的	渡 航 先	渡　航　期　間
荒　　このみ	資料収集・研究者との意見交換（科研費［青山　亨］）	フィンランド スウェーデン	2007. 9. 7～2007. 9. 21
和　田　忠　彦	科研課題調査のため（科研費［和田　忠彦］）	イタリア	2007. 9. 12～2007. 9. 19
藤　井　　毅	史資料保存の国際協働事業に関わる情報収集と関係者との打ち合わせ（G-COEの申請に関わる予備作業）（地域社会先端教育センター）	イギリス	2007. 9. 13～2007. 9. 25
高　橋　清　治	世界大戦、ロシア帝国の崩壊とグルジヤ・メンシェヴィキに関する史的研究のための文献・史料収集（科研費［高橋　清治］）	ロシア	2007. 9. 13～2007. 10. 2
ラケル　ルビオ マルティン	スペイン語教材に関する研究・打合せ（自費）	スペイン	2007. 9. 14～2007. 9. 28
望　月　圭　子	2008年度交流協会奨学金留学生・現地採用2次試験（面接）実施のため（財）交流協会）	台湾	2007. 9. 15～2007. 9. 17
青　山　　亨	現代中国におけるイスラーム文化表象の調査（科研費［青山　亨］）	中国	2007. 9. 15～2007. 9. 23
滝川　ニキパレツ　ガリーナ	国際ロシア語教員・文学研究者の会議に出席するため（自費）	ブルガリア	2007. 9. 17～2007. 9. 25
村　尾　誠　一	福州大学、厦門大学での講義・講演（福州大学、厦門大学）	中国	2007. 9. 20～2007. 9. 27
佐々木　あや乃	昨年より取り組んできたペルシア古典詩「ルバイヤート」和訳完成のため、イランで「ルバイヤート」を出版し編者でありかつ英訳・仏訳・アラビア語訳を手がけたホセイン・サーデギー教授と和訳の最終確認を行う（Dr. Hossein Sadegh［招待］）	スイス	2007. 9. 20～2007. 9. 27
成　田　　節	コーパス分析に基づくドイツ語研究についての情報収集（グローバルCOE［峰岸　真琴］）	ドイツ	2007. 9. 20～2007. 9. 28
黒　澤　直　俊	ポルトガル北部のミランダ語に関する現地調査と関連する資料収集、ならびに関係研究者との意見交換のため（科研費［富盛　伸夫］）	ポルトガル	2007. 9. 20～2007. 10. 4
吉　枝　聡　子	科研課題海外調査のため（科研費［吉枝　聡子］）	ドイツ	2007. 9. 21～2007. 10. 4
在　間　　進	コーパス利用等に関して協議（現代GP）	ドイツ	2007. 9. 22～2007. 10. 1
中　川　　裕	国際学会ATLおよびPhonological feature Conferenceへの参加と関連研究者との討議（グローバルCOE）	フランス	2007. 9. 23～2007. 10. 8
西　永　良　成	資料収集及び国際シンポジウム「フランコフォニー一個人的経験から対話へ」出席（科研費［西永　良成］）	フランス	2007. 9. 24～2007. 10. 7
二　木　博　史	シンポジウム「モンゴルの歴史と言語の研究」参加、研究者との意見交換（自費）	中国	2007. 10. 19～2007. 10. 23
岩　崎　　稔	研究課題に関わる資料調査及び海外研究協力者との打ち合わせ（科研費［日本女子大学］）	アメリカ	2007. 10. 20～2007. 10. 28
林　　俊　成	国際会議への参加（科研費［川口　裕司］）	アメリカ	2007. 10. 20～2007. 10. 28

氏　　名	目　　的	渡航先	渡　航　期　間
村　尾　誠　一	日印交流50周年記念文化交流シンポジウムでの講演（Indo-Japan Association for Literature &Culture）	インド	2007. 10. 25～2007. 10. 31
関　口　時　正	国際学会「アジアにおけるポーランド研究」（於韓国外国語大学）にて研究発表・韓国外国語大学ポーランド学科創立20周年記念行事に参加（個人研究費）	韓国	2007. 10. 25～2007. 10. 29
バルバラ　モルチネク	韓国外国語大学ポーランド学科創立20周年記念行事（国際会議）に参加（自費）	韓国	2007. 10. 25～2007. 10. 29
岩　崎　　稔	ソウル大学でのシンポジウムへの参加（科研費［岩崎　稔］）	韓国	2007. 11.　3～2007. 11.　4
中　野　敏　男	国際シンポジウムにコメンテーターとして出席（大学院GP［和田　忠彦］））	韓国	2007. 11.　3～2007. 11.　7
鶴　田　知佳子	ESIT訪問（通訳翻訳大学院）会議出席（即戦力通訳者要請のための高度化プログラム）	フランス	2007. 11.　7～2007. 11. 10
佐　藤　公　彦	北京大学等における学術交流、及び資料調査（中国国家専家局）	中国	2007. 11.　7～2007. 12.　3
中　川　　裕	ボツワナ大学でのセミナーおよびコイサン語現地資料収集（2007年度グローバルCOE）	ボツワナ	2007. 11.　8～2007. 11. 25
臼　井　佐知子	国際学術研討会に出席する（自費、学会負担）	中国	2007. 11. 11～2007. 11. 17
立　石　博　高	バルセローナ大学、ポンペウ・ファブラ大学での国際ワークショップにて参加・司会。カタルーニャ図書館にて資料収集。（科研費［立石　博高］）	スペイン	2007. 11. 14～2007. 11. 26
高　垣　敏　博	学会発表・打合せ（マドリード自治大学）	スペイン	2007. 11. 15～2007. 11. 22
和　田　忠　彦	科研課題調査のため（科研費［和田　忠彦］）	イタリア	2007. 11. 15～2007. 11. 22
金　　鍾　徳	韓国音声学会主催のシンポジウムで論文を発表する。また延世大学を訪問し、韓国語のコーパスプロジェクト構想について打合せを行う。（自費）	韓国	2007. 11. 15～2007. 11. 22
千　葉　敏　之	ポンペウ・ファブラ大学での国際ワークショップでの報告・討議に出席、史料調査（科研費［立石　博高］）	スペイン	2007. 11. 15～2007. 11. 26
金　指　久美子	チェコ共和国におけるCEFRを応用した外国語教育の実態調査（科研費［富盛　伸夫］）	チェコ	2007. 11. 16～2007. 11. 26
新　熊　隆　嘉	インドでの適正リサイクル・不適正リサイクルに関する調査（平成19年度廃棄物処理等）	インド	2007. 11. 17～2007. 11. 23
金　井　光太朗	バルセローナ大学、ポンペウ・ファブラ大学での国際ワークショップにて参加・報告。（科研費［立石　博高］）	スペイン	2007. 11. 17～2007. 11. 26
相　馬　保　夫	バルセローナ大学、ポンペウ・ファブラ大学での国際ワークショップにて参加・報告。（科研費［立石　博高］）	スペイン	2007. 11. 17～2007. 11. 26
工　藤　光　一	バルセローナ大学、ポンペウ・ファブラ大学での国際ワークショップにて参加・報告。（科研費［立石　博高］）	スペイン	2007. 11. 17～2007. 11. 26
鈴　木　義　一	バルセローナ大学、ポンペウ・ファブラ大学での国際ワークショップにて参加・報告。（科研費［立石　博高］）	スペイン	2007. 11. 17～2007. 11. 26

氏　　名	目　　的	渡 航 先	渡　航　期　間
鈴　木　　茂	ポンペウ・ファブラ大学での国際ワークショップにて参加・報告。(科研費［立石　博高］)	スペイン	2007. 11. 20～2007. 11. 26
佐々木　孝　弘	バルセローナ大学、ポンペウ・ファブラ大学での国際ワークショップに参加。(科研費［佐々木　孝弘］)	スペイン	2007. 11. 20～2007. 11. 26
石　橋　可奈美	国際環境紛争に関する共同研究のため（平和中島財団［石橋　可奈美］)	アメリカ	2007. 11. 20～2007. 11. 26
岡　田　昭　人	「教養日本力」高度化推進プログラムにかかる調査（特色GP「教養日本力」)	台湾	2007. 11. 21～2007. 11. 25
スレーシュ　リトゥパルナ	ヒンディー語専攻学生の研修旅行にあたって諸事の計画について打合せをする。また新学期授業の教材等の収集(自費)	インド	2007. 11. 22～2008.　1. 13
若　松　邦　弘	イギリスにおける新しい利害の表出と組織化に関する資料の収集（科研費［若松　邦宏］)	イギリス	2007. 11. 24～2007. 12.　2
丹　羽　　泉	アジア・アフリカ研究教育コンソーシアム、ITP、PCSに関する打合せ（平成19年度若手研究者インターナショナルトレーニングプログラム（ITP))	シンガポール	2007. 11. 28～2007. 12.　3
和　田　忠　彦	科研課題海外調査のため（科研費［和田　忠彦］)	イタリア	2007. 12. 13～2007. 12. 18
博　多　かおる	科研課題資料調査のため（科研費［博多　かおる］)	フランス	2007. 12. 15～2008.　1.　8
モルチネク　バルバラ	日本におけるポーランド語試験についての研究をワルシャワ等の都市で行う。また、来年のポーランド語科のサマースクールの日程について調整する。(自費)	ポーランド	2007. 12. 15～2008.　1. 14
八尾師　　誠	アフガニスタン･イスラーム共和国国立公文書館書図文字資料群の整理作業及びイラン･イスラーム共和国国民図書館･資料機構､議会図書館との打合せ 他（トヨタ財団[八尾師 誠］)	イラン	2007. 12. 17～2008.　1. 17
今　井　昭　夫	資料収集及び現地調査（科研費［今井　昭夫］)	ベトナム	2007. 12. 18～2007. 12. 30
バン　ソバタナ	留学中（短期留学派遣制度）の本学学生の学習・生活指導、交流協定校である王立プノンペン大学側との来年度客員教員候補者との業務の引き継ぎ（自費)	カンボジア	2007. 12. 19～2008.　1. 10
野　本　京　子	台湾東海大学等における日本語・日本研究及び教育に関する調査（特色GP「教養日本力」高度化推進プログラム)	台湾	2007. 12. 20～2007. 12. 23
川　口　健　一	ハノイの国家図書館にて資料収集・調査を行う。またベトナム人研究者との意見交換も行う（自費)	ベトナム	2007. 12. 20～2007. 12. 25
林　　俊　成	言語情報学班　学習者言語プロジェクト（台湾　淡江大学で実施する学習言語データ収集に向けての準備)(2007年度グローバルCOE)	台湾	2007. 12. 20～2007. 12. 29
林　　佳世子	ドイツ国立図書館における文献調査（科研費［林　佳世子］)	ドイツ	2007. 12. 20～2008.　1. 15
中　川　　裕	カラハリ・コエ諸語の現地調査（科研費［中川　裕］)	南アフリカ　ボツワナ	2007. 12. 20～2008.　1.　9
海　野　多　枝	言語情報学班　学習者言語プロジェクト（台湾　淡江大学で実施する学習言語データ収集に向けての準備)(2008年度グローバルCOE)	台湾	2007. 12. 23～2007. 12. 28
相　馬　保　夫	「第二次世界大戦期における中欧社会主義者の反ナチ抵抗運動と戦後ドイツ構想」に関する資料収集のため（科研費［相馬　保夫］)	ドイツ	2007. 12. 24～2007. 12. 30

氏　　名	目　　的	渡 航 先	渡　航　期　間
渡　邊　啓　貴	最近のEUの近隣政策・フランスの対EU政策についての聞き取り調査と現地での意見交換（科研費［静岡県立大学］）	フランス ベルギー	2007. 12. 25～2007. 12. 31
浦　田　和　幸	イギリスにおける言語教育政策の調査（科研費［富盛伸夫］）	イギリス	2007. 12. 26～2008.　1.　7
宮　田　敏　之	タイ華人系企業資料の調査・収集（科研費［早稲田大学］）	タイ	2008.　1.　5～2008.　1. 15
井　尻　秀　憲	中華欧亜基金会が主宰する研究会議に参加する他、同テーマに関する専門家との意見交換を行う。（中華欧亜基金会）	台湾	2008.　1. 10～2008.　1. 15
渡　邊　啓　貴	梨花女子大学、延世大学、マレーシア大学等訪問（科研費［ICU］）	韓国 マレーシア	2008.　1. 10～2008.　1. 16

3．大学院

氏　　名	目　　的	渡 航 先	渡　航　期　間
野　間　秀　樹	国際韓国語教育学会（IAKLE）参加および資料収集	韓国	2007.　8.　9～2007.　8. 14
宇佐美　まゆみ	カナダ日本語教育振興会2007年度年次大会にて研究発表及び招待パネリストとしてパネルディスカッションを行う　他　（自費）	カナダ	2007.　8. 20～2007.　8. 30
宇佐美　まゆみ	元智大学ワークショップ基調講演及びワークショップ、大学視察、研究者交流（台湾・元智大学）	台湾	2007.　8. 31～2007.　9.　5
廣　瀬　陽　子	研究課題に関する調査、資料収集のため（科研費［廣瀬陽子］）	ハンガリー	2007.　9.　3～2007.　9. 18
南　　潤　珍	研究会参加、大学の韓国語教育機関での韓国語語彙教育の現状を調査する（自費）	韓国	2007.　9. 12～2007.　9. 26
伊勢崎　賢　治	ドイツ・ボシューム大学でのPCSグローバル・キャンパス・プログラムに関する打ち合わせ（文部科学省［戦略的国際連携支援事業］）	ドイツ	2007.　9. 14～2007.　9. 21
宇佐美　まゆみ	大学教育の国際化推進プログラム（海外先進研究実践プログラム）「新しい言語教育学確立のための基礎的研究」遂行のため（文部科学省平成19年度研究拠点形成費等補助金）	アメリカ（ハワイ）	2007. 10. 17～2008.　3. 30
伊勢崎　賢　治	PCS-GCに関する打合せ（文部科学省大学教育の国際化推進プログラム［戦略的国際連携支援］）	シンガポール	2007. 11. 28～2007. 12.　1
西　谷　　修	パリの人間科学館での会合、及びナント先端研究所での研究打合せ（科研費［西谷　修］）	フランス	2007. 12.　5～2007. 12. 12
投　野　由起夫	アジア辞書学会参加（常任理事会主席、およびアジア圏の辞書学研究、資料収集）（科研費［投野　由起夫］）	インド	2007. 12.　5～2007. 12.　9
酒　井　啓　子	韓国中東学会の国際シンポジウムに出席・報告を行う（韓国中東学会）	韓国	2007. 12.　6～2007. 12.　8
南　　潤　珍	第4次コーリアン教育研究国際学術会議に参加し、発表する。第34回（韓国）国語学会全国学術大会に参加する。資料収集を行う。（梨花女子大学、自費）	韓国	2007. 12. 13～2007. 12. 24
廣　瀬　陽　子	スタディ・ツアーの下見のため（研究拠点形成費等補助金若手研究者養成費［伊勢崎　賢治］）	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2007. 12. 16～2007. 12. 25

４．アジア・アフリカ言語文化研究所

氏　　名	目　　的	渡航先	渡　航　期　間
芝　野　耕　司	CASTEL-J2007で査読付きフルペーパー発表、大規模日本語e-Learningの開発（現代GP e-日本語）	アメリカ（ハワイ）	2007. 8. 2〜2007. 8. 7
豊　島　正　之	Markup Theory and Practice会議出席・キリシタン文献調査（個人研究費［豊島　正之］）	アメリカ カナダ	2007. 8. 3〜2007. 8. 11
黒　木　英　充	JaCMES運営管理、研究打ち合わせ（FSC［中東イスラーム］）	レバノン	2007. 8. 3〜2007. 8. 16
飯　塚　正　人	モロッコおよびスペイン在住ムスリムの平和と暴力をめぐる思想と実践の調査（科研費［飯塚　正人］）	モロッコ スペイン	2007. 8. 5〜2007. 8. 17
荒　川　慎太郎	遼寧省・遼寧省博物館などの見学・資料閲覧、及び内蒙古大学で開催される「第一回契丹文字と関連領域に関する学術研究会」への参加（自費）	中国	2007. 8. 8〜2007. 8. 23
西　井　涼　子	タイにおけるムスリムの改宗についての現地調査及び資料収集（科研費［西井　涼子］）	タイ	2007. 8. 14〜2007. 9. 15
河　合　香　吏	東アフリカ牧畜社会の臨地調査（未開発言語文化派遣事業）	ケニア	2007. 8. 16〜2007. 9. 21
新　井　和　広	アチェ（インドネシア）のタノアベ宗教学校における写本調査（地球社会先端教育研究センター）	インドネシア	2007. 8. 16〜2007. 8. 31
稗　田　　乃	第10回ナイル・サハラ言語学コロキウム出席（国際的水準経費）	フランス	2007. 8. 20〜2007. 8. 27
小　田　淳　一	ユモロ諸島のアラビアンナイト異話群調査の打ち合わせ及びマルドリュス・コレクションのデジタル化に関する打ち合わせのため（科研費［国立民族学博物館］）	フランス	2007. 8. 20〜2007. 9. 4
中　見　立　夫	科研研究課題実施のため（科研費［中見　立夫］）	中国 カザフスタン	2007. 8. 20〜2007. 9. 10
呉　人　徳　司	北方諸言語に関する文献資料の収集、国際学会参加（科研費［呉人　徳司］）	モンゴル	2007. 8. 22〜2007. 9. 1
芝　野　耕　司	アダムミツキエイッチ大学(日本学科)、ヤギェウォ大学(日本語学科)、ワルシャワ大学(日本語学科)を訪問し、各大学の利用と日本語教材の共同開発について検討等を行う(現代GP)	ポーランド	2007. 8. 29〜2007. 9. 5
床　呂　郁　哉	AA研現地研究拠点関連事業（FSC経費［コタキナバル拠点関連］）	マレーシア	2007. 9. 2〜2007. 9. 26
栗　原　浩　英	中越間越境開発に関する調査（学長裁量経費：科研費プロジェクト支援経費）	ベトナム	2007. 9. 16〜2007. 9. 22
町　田　和　彦	ヒンディー語、サンスクリット語、ウルドゥー語の資料収集（JST）	インド	2007. 9. 19〜2007. 9. 30
西　井　涼　子	タイにおけるムスリムの改宗についての現地調査及び資料収集（科研費［西井　涼子］）	タイ	2007. 9. 19〜2007. 10. 5
三　尾　裕　子	6th Conference of the International Society for the Study of Chinese Overseasでの発表（受託研究費［三尾裕子］）	中国	2007. 9. 20〜2007. 9. 24
澤　田　英　夫	第40回国際シナ＝チベット学会（ICSTLL）参加・研究発表及び資料収集（科研費［神戸市看護大学］）	中国	2007. 9. 22〜2007. 9. 30

氏　　名	目　　的	渡 航 先	渡　航　期　間
呉　人　徳　司	チュクチ語に関する現地研究者との共同研究ならびに現地調査（科研費［富山大学］）	ロシア	2007. 9. 24〜2007. 10. 12
宮　崎　恒　二	アジア・アフリカ研究教育コンソーシアム及びグローバル・コミュニティに関する打ち合わせ（JISTEC大学国際学術戦略本部経費）	フランス イギリス	2007. 9. 25〜2007. 10. 1
芝　野　耕　司	ECML Conference2007に参加（現代GP）	オーストリア	2007. 9. 26〜2007. 10. 1
椎　野　若　菜	現地調査および資料収集（科研費［神奈川大学］）	ウガンダ	2007. 9. 29〜2007. 10. 10
呉　人　徳　司	チュクチゴに関する現地研究者との共同研究ならびに現地調査（科研費［富山大学］）	ロシア	2007. 10. 4〜2007. 10. 15
稗　田　　乃	ケルン大学にて特任教授と会合、マックスプランク研究所を訪問（2007年度グローバルCOE）	ドイツ	2007. 10. 8〜2007. 10. 17
中　見　立　夫	研究課題実施のため（科研費［代表者：中見　立夫］）	アメリカ	2007. 10. 9〜2007. 10. 23
尹　　紹　亭	「中国古代性文化合作検討会」出席のため（中華性文化博物館）	中国	2007. 10. 13〜2007. 10. 20
黒　木　英　充	JaCMES運営管理、11月事業の準備（FSC経費［中東イスラーム］）	レバノン	2007. 10. 13〜2007. 10. 19
中　山　俊　秀	国際連携事業展開に関する打合せと準備（国際的水準経費）	アメリカ イギリス ドイツ	2007. 10. 14〜2007. 10. 27
クリスチャン ダニエルス	インフォーマントを使用して、①徳昴族に関するタイ文史料の解読、②徳昴族の歴史と神話に関する聞き取りを行う（自費）	タイ 中国	2007. 10. 15〜2007. 11. 27
三　尾　裕　子	「媽祖信仰與馬祖」国際会議出席（コメンテータ）（台湾中央研究院）	台湾	2007. 10. 15〜2007. 10. 20
ペーリ バースカラーオ	会議出席（AA研研究費：SCOPE［代表者：町田　和彦］）	アイスランド	2007. 10. 30〜2007. 11. 5
伊　藤　智ゆき	朝鮮語アクセントの総合的研究（海外未開発言語文化派遣［伊藤　智ゆき］）	アメリカ	2007. 10. 30〜2008. 3. 31
黒　木　英　充	講演会開催、JaCMES運営管理（FSC経費［中東イスラーム］）	レバノン	2007. 11. 3〜2007. 11. 9
町　田　和　彦	マルチメディア言語情報資源の研究と資料収集（個人研究費、NHK）	インド	2007. 11. 3〜2007. 11. 18
カナファーニー＝ ザハール アーイダ	国際シンポジウムに参加・報告、現地図書館にて資料収集（自費）	フランス	2007. 11. 4〜2007. 11. 12
陶　安　あんど	中国法律史学会学術大会参加、研究報告と資料調査（特別教育研究経費［国際的水準］）	中国	2007. 11. 10〜2007. 11. 15
峰　岸　真　琴	北タイ諸国民族の言語使用状況調査、タイNational Institute of Info. and Com. Tech.との研究連携構築及び学会発表（2007年度グローバルCOE［峰岸 真琴］）	タイ インド	2007. 11. 13〜2007. 12. 2
陶　安　あんど	「秦律における商業化の契機」の研究のため（北京大学）	中国	2007. 11. 19〜2007. 12. 19

氏　　名	目　　的	渡 航 先	渡　航　期　間
新　谷　忠　彦	野鶏の生態・捕獲・飼育に関する資料収集（科研費［札幌市立大学］）	タイ	2007. 11. 21～2007. 12.　1
中　見　立　夫	科研費の研究にともなう調査・研究（科研費［日本大学］）	韓国	2007. 11. 21～2007. 11. 26
黒　木　英　充	JaCMESで若手研究者報告会実施（FSC経費［中東イスラーム費用］）	レバノン	2007. 11. 21～2007. 12.　1
高　島　　淳	国際会議出席、サンスクリット語・インド諸語についての文献資料収集（受託研究［戦略的情報通信研究開発推進制度　町田　和彦］）	インド タイ	2007. 11. 22～2007. 12.　2
河　合　香　吏	牧畜民ドドスの臨地調査、研究打合せ、資料収集（未開発言語文化派遣経費）	ケニア ウガンダ	2007. 11. 23～2008.　2. 22
ペーリ バースカララーオ	カリフォルニア大学バークレー校、STEDT Project会議・打合せ（2007年度グローバルCOE［峰岸 真琴］）	アメリカ	2007. 11. 24～2007. 12.　4
芝　野　耕　司	ISO国際会議出席のため（（社）情報処理学会情報規格調査会）	ドイツ	2007. 11. 25～2007. 12.　2
澤　田　英　夫	STEDTプロジェクトとの研究協力に関する打合せ（2007年度グローバルCOE［峰岸 真琴］）	アメリカ	2007. 11. 26～2007. 12.　2
尹　　紹　亭	国際会議出席及び、資料収集のため（自費）	中国	2007. 12. 15～2008.　1. 13
高　島　　淳	フランス極東学院での研究打合せ（科研費［高島　淳］）	フランス	2007. 12. 15～2007. 12. 24
澤　田　英　夫	フランス極東学院での研究打合せ（科研費［高島　淳］）	フランス	2007. 12. 15～2007. 12. 24
床　呂　郁　哉	AA研コタキナバル拠点関連作業、及び東南アジアのイスラームに関する資料収集（FSC経費、受託研究ISEA［床呂　郁哉］）	マレーシア シンガポール	2007. 12. 16～2007. 12. 25
ダニエルス クリスチャン	ミッチュル図書館で史料を閲覧・収集する。（自費）	オーストラリア	2007. 12. 16～2008.　1.　5
小　田　淳　一	中世修辞学・芸術様式関連資料の収集、修辞技法に基づく千一夜物語索引の翻訳打合せ（科研費［小田　淳一］）	フランス	2007. 12. 18～2008.　1.　4
ペーリ バースカララーオ	ニラギリ語、インド北東部・ヒマラヤ低地地方の言語に関してのフィールドワーク（科研費［ペーリ　バースカララーオ］）	インド	2007. 12. 20～2008.　2. 24
三　尾　裕　子	資料収集、現地調査（科研費［東洋大学］）	台湾	2007. 12. 22～2008.　1.　6
中　山　俊　秀	Language Documentation Training Centerの視察、及び研究交流・連携事業の打合せ（特別教育研究経費［国際的水準経費］）	アメリカ	2008.　1.　4～2008.　1. 12
西　井　凉　子	タイ国際会議発表、メナムフォーラムータイ国理解の学習会議講演のため（受託研究費ISEA［床呂　郁哉］）	タイ	2008.　1.　7～2008.　1. 12
稗　田　　乃	クマム語（西ナイル語）の記述研究（科研費［稗田　乃］）	ウガンダ	2008.　1. 10～2008.　1. 29
ダニエルス クリスチャン	研究打合せ、調査準備、シャン語文献調査（科研費［新谷　忠彦］）	タイ	2008.　1. 11～2008.　1. 23

氏　　名	目　　的	渡 航 先	渡　航　期　間
飯　塚　正　人	バーレーン在住シーア派ムスリムへのイスラームフォビア意識の浸透に関する現地調査（科研費［飯塚　正人］）	バーレーン	2008. 1. 15～2008. 1. 21
黒　木　英　充	レバノンなど中東地域の現代史研究に関する資料収集、研究者との打合せ（科研費［黒木　英充］）	レバノン	2008. 1. 15～2008. 1. 26
新　井　和　広	東南アジア在住アラブのネットワークに関する調査（科研費［新井　和広］）	インドネシア	2008. 1. 18～2008. 2. 3
床　呂　郁　哉	AA研コタキナバル連絡事務所関連作業、及び科研課題に関する調査（科研費［床呂　郁哉］）（FSCコタキナバル事務所経費）	フィリピン マレーシア	2008. 1. 18～2008. 1. 30
伊　藤　智ゆき	朝鮮語アクセントの総合的研究（海外未開発言語文化派遣［伊藤　智ゆき］）	アメリカ	2008. 4. 1～2008. 8. 20

5．事務局

氏　　名	目　　的	渡 航 先	渡　航　期　間
宮　下　晶　子	アジア・アフリカ研究教育コンソーシアム及びグローバル・コミュニティに関する打合せ（大学国際学術戦略本部経費）	イギリス フランス	2007. 9. 25～2007. 10. 1
和　泉　悦　子	事務職員の海外研修（学長裁量経費）	イギリス フランス	2007. 9. 25～2007. 10. 1
小　林　こずえ	アジア・アフリカ研究教育コンソーシアム、ITPに関する打合せ（大学国際学術戦略本部）	シンガポール	2007. 11. 28～2007. 12. 3
戸　澤　　高	事務職員の海外研修（学長裁量経費）	シンガポール	2007. 11. 28～2007. 12. 3

6．留学生日本語教育センター

氏　　名	職名	目　　的	渡 航 先	渡　航　期　間
楠　本　徹　也	准教授	大学院日本語教育等専修コース教育実習引率・指導（大学院競争的経費）	中国	H19. 7. 29～H19. 8. 19
谷　　和　明	教　授	「転型社会における生涯随伴的学習のコンテキストとしての市民的参加」に関する共同研究のための情報交換および討論文献調査、関連施設・団体の視察およびインタビュー（自費）	ドイツ	H19. 8. 1～H19. 8. 15
善如寺　俊　幸	准教授	現地日本語教育関係者との教材作成協議および情報交換漢字学および漢字教授法に関する資料収集（自費）	中国	H19. 8. 2～H19. 8. 11
宮　城　　徹	准教授	異文化コミュニケーション教育の実態について比較調査のため担当教員との打合せ日本語ティーチングアシスタントおよびセンター修了生へのインタビュー（自費）	オーストラリア	H19. 8. 21～H19. 9. 11
伊　東　祐　郎	教　授	DIF研究に関する調査および意見交換（科学研究費：一橋大学）	韓国	H19. 8. 28～H19. 8. 30
伊集院　郁　子	講　師	台湾元智大学におけるワークショップ「談話コーパスの構築とその利用」への参加および研究発表（元智大学）	台湾	H19. 8. 31～H19. 9. 2
伊　東　祐　郎	教　授	DIF研究に関する調査および意見交換（科学研究費：一橋大学）	韓国	H19. 9. 4～H19. 9. 7

氏　　名	職名	目　　的	渡 航 先	渡　航　期　間
中　村　　彰	准教授	カリフォルニア大学ロサンゼルス校教授との理論言語学および日本語教育に関する討論国際交流基金ロサンゼルス事務所での日本語教育関係の情報交換（自費）	アメリカ	H19. 9. 5〜H19. 9. 30
伊　東　祐　郎	教　授	DIF研究に関する調査および意見交換（科学研究費：一橋大学）	韓国	H19. 9. 16〜H19. 9. 18
柏　崎　雅　世	教　授	日本語教育支援および日本語教師養成に関わるアドバイジング（ハノイ国家大学外国語大学）	ベトナム	H19. 9. 22〜H19. 9. 27
藤　森　弘　子	教　授	日本語学・日本語教育国際シンポジウム参加（発表）（ハノイ国家大学外国語大学）	ベトナム	H19. 11. 14〜H19. 11. 18
藤　村　知　子	准教授	日本語学・日本語教育国際シンポジウム参加（発表）（ハノイ国家大学外国語大学）	ベトナム	H19. 11. 14〜H19. 11. 18
鈴　木　智　美	准教授	ストックホルム大学東洋学部日本学科教員と文法論・意味論および誤用分析に関わる研究についての打ち合わせ、日本語教育事情調査と初級日本語教科書についての意見交換（東京外国語大学）	スウェーデン	H19. 11. 20〜H19. 11. 24
土　屋　順　一	准教授	朝鮮・北京語による日本語習得に関する面接調査（科学研究費：東京外国語大学）	中国	H19. 11. 20〜H19. 11. 24
中　村　　彰	准教授	カリフォルニア大学ロサンゼルス校言語学科の教授と理論言語学に関する研究について意見交換国際交流基金ロサンゼルス事務所において日本語教育関係の情報収集（自費）	アメリカ	H19. 12. 14〜H20. 1. 8
善如寺　俊　幸	准教授	漢字学研究、資料収集および日本語教育教材開発に関する打合せ、情報交換（自費）	中国	H19. 12. 21〜H20. 1. 8
坂　本　　惠	教　授	マレーシア政府派遣留学生に対する文部科学省試験実施・合否判定（文部科学省）	マレーシア	H20. 1. 7〜H20. 1. 10

主　要　日　誌

月　日　曜	事　　項
8月2日（木）	高校英語教師のための英語セミナー（1日から）
	体育系団体夏季リーダーシップトレーニング研修会
8月5日（日）	保護者への説明会（九州地区）（アスクビル）
	体験授業in九州（ASCビル）
8月6日（月）	経営協議会（於：KKRホテル東京）
8月7日（火）	役員会
	外国語学部教務委員会
8月9日（木）	経営戦略会議
8月10日（金）	国際学術戦略本部（OFIAS）会議
8月11日（土）	府中キャンパス全館停電
8月13日（月）	夏期休暇（15日迄）
8月20日（月）	役員会
8月21日（火）	大学運営会議
	経営戦略会議
8月23日（月）	調布市市民親子見学会
	評価者研修
8月27日（月）	東京外語会との合同協議会
	第10回知的財産・産学官連携室会議
	外国語学部研究生（日本人）・科目等履修生出願受付（28日迄）
8月28日（火）	役員会
	将来構想会議
	教育研究評議会
8月30日（木）	流山東・流山中央高校英語教育セミナー
	国立大学法人トップセミナー（31日迄 於：ホテルモントレ横浜）
8月31日（金）	池端学長、橋本理事離任式
9月3日（月）	亀山郁夫学長就任
9月4日（火）	新役員着任式
	役員会
	経営戦略会議
9月5日（水）	学生委員会
	留学生日本語教育センター運営会議
	危機管理セミナー
9月6日（木）	アジア・アフリカ言語文化研究所企画運営委員会
	留学生日本語教育センター教授会
	アジア・アフリカ言語文化研究所　言語研修修了式
9月8日（土）	読売新聞立川支局共催連続市民講座（第5回）
	博士論文公開審査
9月11日（火）	役員会
9月12日（水）	外国語学部運営会議
	外国語学部教務委員会
	外国語学部教授会
	留学生委員会
	留学生日本語教育センター運営会議
9月13日（木）	アジア・アフリカ言語文化研究所教授会
	留学生日本語教育センター教授会
9月14日（金）	外国語学部運営会議
	国際学術戦略本部（OFIAS）会議
	留日センター：6か月コース修了式
	国大協経営支援委員会（学術総合センター）
	外国語学部研究生（日本人）・科目等履修生合格者発表
9月17日（月）	敬老の日
9月18日（火）	学長室会議
	危機管理研修（於：首都大学東京）
	中東・イスラーム教育セミナー（21日迄　於：AA研）
9月19日（水）	外国語学部教授会
	大学院協議会
	大学院地域文化研究科教授会
	大学院博士前期課程各専攻会議
	ハラスメント相談室会議
	留学生日本語教育センター運営会議
	大学院博士後期課程各教員会議
9月20日（木）	留学生日本語教育センター平成19年度外国人留学生秋期研修旅行（22日迄、山梨・長野方面）
	EUIJ合同協議会（於：一橋大学）
	OFIAS英語教室
	OFIAS第2回ブラウンバッグフォーラム
9月21日（金）	後期分授業料免除申請受付（28日迄）
	大学院博士前期課程研究生（日本人）合格者発表
	地球社会先端教育研究センター会議
	国際学術戦略本部（OFIAS）会議
9月23日（日）	秋分の日
9月24日（月）	振替休日
9月25日（火）	役員会
	将来構想会議
	教育研究評議会
	経営戦略会議
	9月卒業式・学位記授与式
	優良防火対象物認定証交付式（府中消防署）
	大学院博士前期課程（秋季）出願受付（10月3日迄）
	公務員試験対策導入講座（28日迄）
9月26日（水）	留学生日本語教育センター運営会議
	入試戦略室会議
9月27日（木）	留学生日本語教育センター将来構想会議
	外国語学部研究生（日本人）、科目等履修生入学手続（28日迄）

	OFIAS英語教室
9月28日（金）	後期分授業料免除申請受付最終日
9月29日（土）	読売新聞立川支局共催連続市民講座（第6回）
10月2日（火）	役員会
	学長室会議
	教育研究評議会
	経営戦略会議
10月3日（水）	社会連携事業室会議（第1回）
	外国語学部運営会議
	学生委員会
	外国語学部カリキュラム委員会
	留学生日本語教育センター運営会議
	国際学術戦略本部（OFIAS）会議
	企画運営室会議
	ハラスメント相談室会議
	危機管理セミナー
10月4日（木）	OFIAS英語教室
	マネージメントセミナー（学術総合センター）
10月5日（金）	外国人留学生入学式（大会議室）
	アジア・アフリカ言語文化研究所企画運営委員会
	在外公館派遣職員説明会
	安全管理協議会
10月8日（月）	体育の日
10月9日（火）	役員会
	経営戦略会議
	国際企画担当職員研修（11日迄　於：国立オリンピック記念青少年総合センター）
	外国語学部第3年次編入学・一般編入学試験出願受付（12日迄）
10月10日（水）	大学院協議会
	大学院博士前期課程各専攻会議
	学術公開推進室会議
	大学院地域文化研究科教授会
	学部・大学院教授会
	定期競技大会結団式
	国大協東京地区支部会議（於：東京大学）
	就職ガイダンス
10月11日（木）	アジア・アフリカ言語文化研究所教授会
	留学生日本語教育センター教授会
	OFIAS英語教室
	就職セミナー
10月12日（金）	全国外大学長会議（於：大津プリンス・ホテル）
	就職ガイダンス
10月13日（土）	池端雪浦前学長による特別講演会
	キャリア相談員総会
10月15日（月）	役員会
10月16日（火）	学長室会議
10月17日（水）	地域・国際講座会議
	広報マネジメント室会議
	外国語学部運営会議
	外国語学部教授会
	外国語学部教務委員会
	外国語学部カリキュラム委員会
	留学生日本語教育センター運営会議
	秋季定期健康診断（春季定期健康診断の未受診者）
	留学生健康診断（外国人留学生を対象）
	第59回東京外国語大学・大阪外国語大学定期競技大会（閉幕記念大会）（18日迄　於：大阪大）
	秋季健康診断
10月18日（木）	留学生研修旅行（山梨県甲府市）
	国際学術戦略本部（OFIAS）会議
	OFIAS英語教室
	大学院地域文化研究科教授会
	留学生日本語教育センター運営会議
10月19日（金）	アカウント講習会
	世界学長会議（21日迄　於：早稲田大学）
10月20日（土）	大学院博士前期課程第一次選考（筆答試験）
10月23日（火）	教育研究評議会
	役員会
10月24日（水）	経営協議会（於：如水会館）
	大学院協議会
	論集委員会
	博士前期専攻会議
	大学院地域文化研究科教授会
10月25日（木）	留学生日本語教育センター平成19度国費学部進学留学生への大学進学説明会
10月27日（土）	読売新聞立川支局共催連続市民講座（第7回）
	学内企業研究会（28日迄）
10月29日（月）	多言語・多文化教育研究推進室会議
	博士論文公開審査
	附属図書館講演会　講師「辻原登」
	図書館貴重書展示会（11/22迄）
	展示会「鮮麗な阿富汗一八四八」（12月14日迄　於：AA研）
	私費外国人研究生（外国在住者）出願受付（11月2日迄）
10月30日（火）	社会連携事業室会議（第2回）
	アジア・アフリカ言語文化研究所企画運営委員会
10月31日（水）	AA研企画運営委員会
	大学院企画運営会議
	OFIAS第3回ブラウンバッグフォーラム
	学術公開推進室会議
	留学生日本語教育センター運営会議
	図書館委員会
	防災訓練（国際交流会館）
	ハラスメント相談室会議

11月１日（木）	国立大学附置研究所・センター長会議
	第三部会シンポジウム
	留学生日本語教育センターFD講習会
11月３日（土）	文化の日
	大学院博士前期課程第２次選考（口述試験・言語文化以外の専攻）
11月４日（日）	大学院博士前期課程第２次選考（口述試験・言語文化専攻）
11月５日（月）	国大協総会（ホテルオークラ新潟）
	アルコールパッチテスト（９日迄）
11月６日（火）	経営戦略会議
	国際学術戦略本部（OFIAS）会議
	学長室会議
11月７日（水）	大学院協議会
	学生委員会
	留学生日本語教育センター運営会議
	大学院博士前期課程各専攻会議
	大学院地域文化研究科教授会
	学部カリキュラム委員会
	名誉教授称号授与式（池端前学長）
	博士論文公開審査
11月８日（木）	アジア・アフリカ言語文化研究所教授会
	留学生日本語教育センター教授会
	近隣町内会との交流会
	献血
11月９日（金）	大学院博士前期課程最終合格発表
	博士論文公開審査
11月10日（土）	外国語学部欧米第一課程・東アジア課程第３年次編入学・一般編入学試験
11月12日（月）	多言語・多文化教育研究推進室会議
	役員会
	多摩地区国立大学長懇談会（無門庵）
11月13日（火）	経営戦略会議
	役員会
11月14日（水）	外国語学部教務委員会
	学部運営会議
	外国語学部教授会
	留学生委員会
	国際協力専攻会議
	社会連携事業室（第３回）
	企画運営室会議
	大学院博士前期課程国際協力専攻会議
11月15日（木）	留学生日本語教育センター運営会議
11月17日（土）	流山東・中央高校と留学生との交流会
11月19日（月）	役員会
	外国語学部帰国子女・私費外国人留学生特別選抜願書受付（22日迄）
11月20日（火）	学長室会議
11月21日（水）	第85回外語祭（25日迄）
	平成19年度永年勤続表彰
	国際学術戦略本部（OFIAS）会議
	留学生日本語教育センター運営会議
	調布市市民見学会
	企画運営室会議
	ハラスメント相談室会議
11月23日（金）	勤労感謝の日
	第２回オープンキャンパス
11月24日（土）	保護者への説明会（１年次生対象）
11月26日（月）	第11回知的財産・産学官連携室会議
11月27日（火）	役員会
	総合情報コラボレーションセンター会議
	教育研究評議会
11月28日（水）	大学院協議会
	大学院FD研修会
	大学院地域文化研究科教授会
	点検・評価室会議
	苦情処理委員会
	入試戦略室会議
	アジア・アフリカ言語文化研究所企画運営委員会
	外国語学部カリキュラム委員会
11月29日（木）	留学生日本語教育センター教授会（臨時）
11月30日（金）	防災訓練（事務局棟内の役員及び職員を対象）
12月１日（土）	多文化協働実践研究・全国フォーラム（２日迄）
12月３日（月）	大学院博士後期課程出願受付（６日迄）
12月４日（火）	経営戦略会議
	四大学連合文化講演会（於：一橋記念講堂）
12月５日（水）	外国語学部運営会議
	留学生委員会
	学生委員会
	留学生日本語教育センター運営会議
	ハラスメント防止研修会
	情報セキュリティーセミナー
	学術公開推進室会議
	文部科学省西東京地区中堅職員研修（６日迄　於：東京外国語大学）
	日本学生支援機奨学金返還説明会
12月６日（木）	アジア・アフリカ言語文化研究所教授会
	アジア・アフリカ言語文化研究所企画運営委員会
	留学生日本語教育センターFD講習会
12月７日（金）	事務情報化委員会
12月８日（土）	読売新聞立川支局共催連続市民講座（第８回）
12月10日（月）	大学機関別認証評価訪問調査(11日迄)
	経営戦略会議
	役員会
12月11日（火）	募金委員会
12月12日（水）	東外大ニュース発行委員会
	外国語学部教務委員会
	外国語学部カリキュラム委員会
	外国語学部教授会
	社会連携事業室（第４回）

	留学生日本語教育センター運営会議
	情報マネジメント委員会
	事務職員PC研修（14日迄）
12月13日（木）	国際学術戦略本部（OFIAS）会議
	アジア・アフリカ言語文化研究所教授会
	留学生日本語教育センター教授会
	総合情報コラボレーションセンター会議
12月14日（金）	日本文化交流会
	国際交流の夕べ
12月17日（月）	役員会
	外国語学部日本課程（外国人留学生）出願受付（21日迄）
12月18日（火）	学長室会議
12月19日（水）	大学院協議会
	論集委員会
	大学院博士後期課程各教員会議
	留学生日本語教育センター運営会議
	大学院地域文化研究科教授会
	中東・イスラーム教育セミナー（後期）（22日迄　於：AA研）
	体育系団体冬季リーダーシップトレーニング研修会（20日迄）
	献血
12月20日（木）	学長室会議
12月21日（金）	広報マネジメント室会議
	私費外国人研究生（外国在住者）合格発表
12月25日（火）	役員会
	教育研究評議会
	高校生のための国際理解（グローバル）セミナー（27日迄）
12月28日（金）	仕事納め
1月4日（金）	仕事始め
1月7日（月）	年頭の挨拶
	役員会
	アジア・アフリカ言語文化研究所企画運営委員会
	大学院博士前期課程（冬季）出願受付（9日迄）
1月8日（火）	学長室会議
	経営戦略会議
1月9日（水）	第5回社会連携事業室会議
	外国語学部運営会議
	外国語学部教授会
	外国語学部教務委員会
	留学生委員会
	学生委員会
	ハラスメント相談室会議
	留学生日本語教育センターFD講習会
1月10日（木）	留学生日本語教育センター運営会議
	国際学術戦略本部（OFIAS）会議
	留学生日本語教育センター教授会
	アジア・アフリカ言語文化研究所教授会
	博士論文公開審査
1月11日（金）	PCSグローバルキャンパス推進室会議
1月12日（土）	読売新聞立川支局共催連続市民講座（第9回）
1月15日（火）	役員会
	経営戦略会議
1月16日（水）	留学生日本語教育センター運営会議
1月18日（金）	博士論文公開審査
1月19日（土）	大学入試センター試験（20日迄）
1月21日（月）	役員会
	大学院博士前期課程・外国語学部編入学入学手続（22日迄）
	入学料免除・徴収猶予申請受付（大学院博士前期課程・学部編入学）
1月22日（火）	学長室会議
1月23日（水）	多言語・多文化教育研究推進室
	大学院協議会
	大学院博士前期課程各専攻会議
	大学院地域文化研究科教授会
	留学生日本語教育センター運営会議
	アラムナイ事業室会議
1月25日（金）	独立行政法人等情報公開・個人情報保護担当者連絡会議
	博士論文公開審査
1月27日（日）	大学院博士前期課程第一次選考及び博士後期課程筆答学力検査（筆答試験）
1月29日（火）	役員会
	教育研究評議会
	留学生日本語教育センターFD講習会
1月30日（水）	経営協議会（於：如水会館）
	留学生日本語教育センター運営会議
1月31日（木）	総合情報コラボレーションセンター会議
2月1日（金）	献血

東京外国語大学
企画広報課発行